

Kurume  
National  
College  
of  
Technology

75th & 50th  
Anniversary

- 2014
- 2013
- 2012
- 2011
- 2010
- 2009
- 2008
- 2007
- 2006
- 2005
- 2004
- 2003
- 2002
- 2001
- 2000
- 1999
- 1998
- 1997
- 1996
- 1995
- 1994
- 1993
- 1992
- 1991
- 1990
- 1989
- 1988
- 1987
- 1986
- 1985
- 1984
- 1983
- 1982
- 1981
- 1980
- 1979
- 1978
- 1977
- 1976
- 1975
- 1974
- 1973
- 1972
- 1971
- 1970
- 1969
- 1968
- 1967
- 1966
- 1965
- 1964
- 1963
- 1962
- 1961
- 1960
- 1959
- 1958
- 1957
- 1956
- 1955
- 1954
- 1953
- 1952
- 1951
- 1950
- 1949
- 1948
- 1947
- 1946
- 1945
- 1944
- 1943
- 1942
- 1941
- 1940
- 1939

自立の精神と  
創造性に富んだ  
技術者を目指して

創基75周年  
高専創立50周年記念事業

# 募金趣意書



## 久留米工業高等専門学校 創基75周年・高専創立50周年記念事業募金趣意書

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

久留米工業高等専門学校は、平成26(2014)年度に創基75周年・高専創立50周年という大きな節目の年を迎えます。

昭和14(1939)年に旧制の実業学校令に基づいて設立された久留米高等工業学校を前身として、昭和19(1944)年の専門学校令公布により久留米工業専門学校と名称を改め、その後、戦後の学制改革により九州大学の一部に包括され、さらには昭和33(1958)年に独立の久留米工業短期大学となり、昭和39(1964)年から現在の久留米工業高等専門学校として設置されました。

本校は、今日迄70年以上にわたり、我が国のものづくりを担う技術者の養成を使命とする国立の高等教育機関としての歴史と伝統を築いてきております。この間、豊かな教養と高度の専門技術を身につけた優れた資質と高い意欲を持った1万2千余名の卒業生を、産業界をはじめ各界に輩出してまいりました。昭和36(1961)年に久留米工業短期大学に附属工業高校が設置され、それが我が国の現在の高専制度のモデルとなり、また、本校は全国の高専に先駆けて卒業生を産業界に送り出し、先駆的な役割を果たしてきていることは特筆に値します。

卒業生の皆様のご活躍・ご支援と、教職員・学生の努力により、久留米高専は今日でも産業界や社会から高い評価を得ており、優秀な入学者の確保はもとより、例年、卒業生の約6割を占める就職希望者は、昨今の厳しい景気にも関わらずほぼ100%が企業に就職し、約4割の進学希望者は、東京大学、九州大学等の国立大学への編入学や2年間の本校専攻科に進学しております。また、昨年度は全国高等専門学校プログラミングコンテストで本校チームが優勝するなど、様々な大会においても輝かしい成績を収めています。

今日、工業技術の急速な進展や我が国の産業構造の変化に伴い、創造的で実践的な技術者の養成、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成とともに、産業界や地域との連携を促進し、企業との共同研究、技術相談、社会人向け技術セミナーや一般市民への公開講座、さらには小・中・高校生の理科離れ対策としての理科教室や出前授業など、高等専門学校が果たすべき役割は、益々増大している一方で、平成16(2004)年に独立行政法人に移行して以来、現下の厳しい行財政事情の下で国からの予算は毎年削減されている中で、教育研究活動の充実や地域への貢献活動の強化を図るために、外部資金の積極的導入を図ることも喫緊の課題となっております。

創基75周年・高専創立50周年を機に、記念式典、記念講演会等の記念行事の実施とともに記念基金を創設し、本校のこれまでの歴史と伝統を受け継ぎ、次なる50年の飛躍のための礎を確固なものとするため、このたび募金活動を実施することに致しました。

皆様におかれましては厳しい経済事情の折り、多大のご負担をおかけいたしますが、久留米高専の一層の充実発展に向けて、本趣旨に何卒ご理解頂き、格別のご協力、ご支援を賜りますよう深くお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

謹 白

平成24年10月吉日

久留米工業高等専門学校 校長 上田 孝  
同窓会久留米工業会 会長 津福 啓二

# 久留米工業高等専門学校 創基75周年・高専創立50周年記念事業募金要項

## 1. 趣 旨

久留米工業高等専門学校が創基75周年・高専創立50周年(2014年)を迎えるに際し、広く寄附金を募り、さらなる飛躍を目指し、歴史と伝統を活かして、教育研究活動や地域貢献活動の充実を図る。

## 2. 募金の目的

久留米工業高等専門学校創基75周年・高専創立50周年記念事業の支援

## 3. 記念事業の概要

- 記念式典・祝賀会・記念講演会の開催及び記念誌の刊行
- 創基75周年・高専創立50周年記念基金の創設
  - ・学生支援
  - ・教育研究設備、教育研究環境の充実
  - ・地域社会への貢献の推進
  - ・卒業生との交流事業の推進

## 4. 募 金

(1)目標額 1億円

(2)募金活動

募金活動は、久留米工業高等専門学校と同窓会久留米工業会が連携して行う。

(3)募金の対象者

- 同窓会久留米工業会及び会員(久留米工業高等専門学校の卒業生及び修了生)
- 久留米工業高等専門学校の教職員及び旧教職員
- 久留米工業高等専門学校後援会及び会員
- 記念事業の趣旨に賛同する篤志家及び法人等(企業・団体等)

(4)募金の額

個人一口5千円、法人・団体一口1万円(口数は任意)

また一口未満のご寄附につきましても、ありがたくお受け致します。

(5)募金活動の期間

平成24年11月1日から平成27年3月末日まで

(必要に応じ、延長する場合があります。)

## 5. 寄附金の申込方法

同封の払込(振込)用紙をご利用の上、次のうちいずれかの方法により払い込み(振り込み)をお願いします。

(1)【ゆうちょ銀行(郵便局)の振替口座へ払い込む場合】

同封の払込取扱票(別紙1)に必要事項をご記入の上、払い込みください。

ATMのご利用も可能です。

\*同封の払込取扱票をご利用になると払込手数料は不要です。

(受取人負担(高専負担))

(2) 【福岡銀行久留米営業部の預金口座へ振り込む場合】

ア. 同封の振込依頼書をご利用の場合(窓口利用)

同封の振込依頼書(別紙2)に必要な事項をご記入の上、振り込みをお願いします。

\*同封の振込依頼書をご利用になり、福岡銀行本店及び支店・営業部で振り込まれた場合は、振込手数料は不要です。(受取人負担(高専負担))

イ. 同封の振込依頼書を利用せずにATMで振り込む場合

同封の振込依頼書を利用せずに銀行のATMから本校指定の口座に振り込みをされた場合は、必ず同封の「入金連絡票(別紙3)」に必要な事項をご記入の上、本校総務課宛にFAX等で送付願います。(入金連絡票は本校ホームページからもダウンロードできます。)

\*同封の振込依頼書を利用せずにATMで振り込む場合、振り込み手数料が必要です。

◆法人(企業・団体)へのお願い(必須)

企業・団体の場合は、寄附金の払い込み(振り込み)と共に、同封の「入金連絡票」に必要な事項をご記入の上、本校総務課宛にFAX等で送付願います。(入金連絡票は本校ホームページからでもダウンロードできます。)

○ゆうちょ銀行(郵便局) 振替口座 01750-8-142208

口座名義：久留米工業高等専門学校

○福岡銀行久留米営業部 普通預金 2826276

口座名義：久留米工業高等専門学校

## 6. 寄附金に対する税制上の優遇措置

ご入金を確認後に本校からお送りする「寄附金領収書」を控除証明書としてご利用いただき、確定申告をされますと、特定公益増進法人に対する寄附金として、税制上の優遇措置が受けられます。

### ○所得税

所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)及び法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されております。

したがって、寄附金については次のような優遇措置が講じられます。

- ・個人からの寄附 2千円を超える部分について、当該年度所得の40%を限度に当該年度の所得から控除できます。
- ・法人からの寄附 全額損金算入が可能です。

### ○個人住民税

都道府県、市町村の条例で本校が寄附金税額控除の対象とされている場合、所得税の寄附金控除に加えて、住民税の控除が受けられます。(各自ご確認をお願いいたします。)

ただし、控除対象寄附金の合計額が総所得金額の30%上回る場合は、総所得金額の30%が限度となります。

### ○寄附金控除を受けるための手続き等について

所得税の確定申告時に、本校が発行した「寄附金領収書」を添えて所轄の税務署に「確定申告書」を提出してください。

所得税の確定申告をせず、住民税の寄附金税額控除のみを受ける場合は、「都道府県民税・市町村民税 寄附金税額控除申告書」に「寄附金領収書」を添えて居住地の市町村に提出してください。

## 7. ご厚意に対する顕彰

ご寄附いただいた方(個人、法人・団体)のご芳名を、「創基75周年・高専創設50周年記念事業寄附者芳名録」に記し末永く保管するとともに、本校ホームページ等にて掲載させていただきます。また、10万円以上のご寄附をいただいた方は、校内に設置する「記念銘板」にご芳名を掲載させていただきます。

なお、氏名等の公表を希望されない場合は、振込用紙の「希望しない」欄にチェックを入れてください。

## 8. 個人情報の取扱いについて

ご寄附により取得した個人情報につきましては、創基75周年・高専創立50周年記念事業に使用させていただきますとともに、久留米工業高等専門学校の規則に基づき厳正に管理します。

## 9. 寄附金に関するお問い合わせ先

〒830-8555 福岡県久留米市小森野1丁目1番1号

久留米工業高等専門学校総務課総務課長補佐(財務担当)

T E L 0942-35-9309

F A X 0942-35-9313

E-mail kinen@kurume-nct.ac.jp

記念事業に関するお問い合わせ先

**久留米工業高等専門学校**  
**総務課総務課長補佐(総務担当)**

---

〒830-8555 福岡県久留米市小森野1丁目1番1号  
TEL 0942-35-9303 FAX 0942-35-9307  
E-mail [kinen@kurume-nct.ac.jp](mailto:kinen@kurume-nct.ac.jp)